

表題 デジタルスキルを自動で「見える化」し、アワード付与: データサイエンス特別プログラム

【概要】「金沢大学 データサイエンス特別プログラム」は、学士課程の全学生を対象としたプログラム。数理・データサイエンス・人工知能(AI)の知識や基礎能力の修得状況を教務システムの「ポートフォリオ」で公開。学生はいつでも自身のデジタルスキルを確認できる。対象科目の単位修得状況はシステムで自動的に集計され、その単位数に応じて、「アワード」が付与される。文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に認定され、デジタルスキルの可視化と、学生の自ら学ぶ姿勢を高める効果が期待できる。

ポートフォリオ

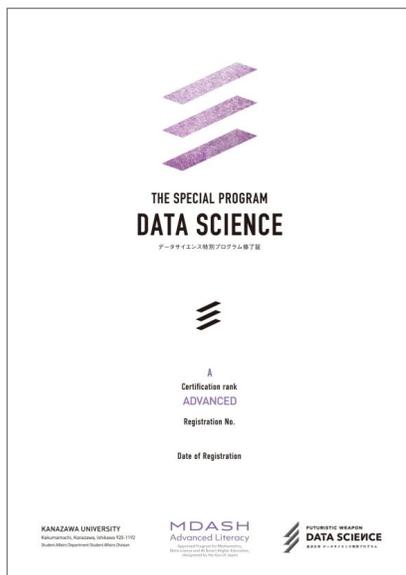
各機能のマニュアル
タイムライン/アワード/学修ポートフォリオ

タイムライン	アワード	専外留学	学修ポートフォリオ	英語検定
アワードとは 「副専攻」や「データサイエンス特別プログラム」等、卒業・修了要件以外にあなたが身に蓄けた能力や資質を可視化するシステムです。このページには要件の「一部」あるいは「すべて」を満たした「アワード」を自動表示しています。				
アワード一覧				
種別	アワード	基準ポイント	達成学期	
データサイエンス特別プログラム	ブロンズ	6	2022年度前期	詳細

修了証を見せる学生たち



修了証



【アワードとは】卒業要件以外に学生が身につけた能力や資質を可視化する本学独自のシステム。本特別プログラムでは、数理・データサイエンス・AIに関する全534科目を対象とし、これらをリテラシーレベル、応用基礎レベルに分類して自動集計し、アワードを付与する。リテラシーレベルでは、ブロンズ(6単位)、シルバー(10単位)、ゴールド(12単位)、プラチナ(14単位)のランクを設定し、さらに進んだ応用基礎レベルの修了も判定する。学生は自身のアワードをいつでも確認でき、修了証をダウンロードできる。

【もはやスペシャルではない。すでにスタンダードである。】

これまでに、4,334名がブロンズランク以上のアワードを獲得し、うち415名が応用基礎レベルまで到達している。デジタルスキルは、もはや特別な能力ではなく、使いこなせて当然の知識である。学生は自らの到達度を把握することで、さらに高度なスキルの獲得に意欲的に挑戦している。